

危機管理コンサルタント 丸谷元人氏が ウクライナ情勢を解説 3月13日

ウクライナに現地視察チームを送り込んだ丸谷氏が、ゼレンスキー政府の軍隊は**ネオナチ**や犯罪者で構成される腐敗に満ちた恐ろしい雇兵(**アゾフ連隊**)が実権を握っており、アゾフ連隊の幹部は政府の要職にも就いていることを3月4日に解説しています。
ゼレンスキー政権とアゾフ連隊のおぞましい実態は、マスメディアでは報道されません。

用語解説 『出典:フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』』

ネオナチとは、ナチズムを復興しようとする、または類似性を持つ、第二次世界大戦後の社会的あるいは政治的運動の総称である。「ネオナチ」という語は、それらの運動のイデオロギーを指す意味でも使われている^[5]。ネオナチのイデオロギーは、オリジナルのナチスやナチズムに近いものから、相違点が多いものなどさまざまである。概して部外者に使う言葉である。多くの国に組織があり国際的なネットワークも存在するなど、世界的に見られる現象となっている。

アゾフ連隊は、ウクライナ内務省管轄の準軍事組織である国家親衛隊に所属する部隊である^[1]。

もとは**アゾフ大隊**であったが、後に連隊に昇格した。2014年5月の創設当初は義勇兵部隊であったものの、ドンバス危機以降の11月からは、国家警備隊として機能するようになった^[2]。義勇兵は黒い制服を着用することがあり、それ故「**メン・イン・ブラック**」という異名を持つ

丸谷元人 危機管理コンサルタント・国際派ジャーナリスト

豊富な軍事知識・経験を持ち、**自衛隊の将官クラスにも講演を行う**・**テロ対策**・**危機管理のスペシャリスト**。世界で5番目に治安の悪い国:パプア・ニューギニアで、24時間銃器を携帯し、要人警護や企業の立ち上げを行う。その後、グローバル企業の危機管理対策ユニットに所属。ナイジェリアの総工費500億円の巨大建設プロジェクトにおいて、誘拐・人身売買を一大ビジネスにしている地元マフィアやテロ組織への諜報活動・交渉を担当。過酷な現場での任務を通して、高い危機管理能力・情報分析のスキルを習得。各国の特殊部隊・諜報機関のメンバーとの人脈を構築する。帰国後、テロ対策・危機管理のプロとして、日本企業・日本人の「インテリジェンス」を高めるための講演・執筆活動・テレビ出演に力を注ぐ。今でも半年に一度はアメリカ陸軍・海兵隊の軍事演習に参加し、腕と知識を磨き続けており、自衛隊の将官クラスから講演を依頼されるなど、豊富な軍事知識・経験には定評がある



『本当は何が起こっているのか！？ ウクライナ危機 現地”生”情報から分析する！』

ゲスト: 危機管理コンサルタント 丸谷元人氏

95,477 回視聴 2022/03/04

[松田政策研究所チャンネル](#) チャンネル登録者数 22.6万人

<https://www.youtube.com/watch?v=31xYWAEZLaM>

松田 学

前略 プーチンが領土的野心で一方的に侵攻して悪玉になっているが、それだけなのか？ それだけでは物事の本質が読めないのではないかと、という立場から、今回は丸谷さんの関係者がウクライナに行かれて、現地で色々なことをご覧になっているということなので、現地の状況などをお話しいただければと思います。

丸谷元人

戦争が始まる前の段階で、調査チームを現地に入れまして、あの国の半分以上を色々と調査し、実際はどうなっているのか、とか、民間人の色々な声を聴いたりとかしてきたのですが、途中で戦争が起きてしまって、商業効果があつという間になくなってしまって、ガソリンスタンドも閉まっているとか、大変なことになって、なんとか隣国に陸路脱出に成功した、と、ほんの数日前のことなのですが、結構大変でした。その中でも、日本では得れない情報が大量に手に入ったというのがあって、見方が全然変わってくるというのがありました。

私もまた、おっしゃる通りプーチンを擁護する気はまったくありませんし、一般のウクライナの国民の色々な声を聞きまして、一般国民はほんとうにかわいそうだな、というのがありまして、数十万の人々が家を失って、身内が死んで嘆き悲しんでいると、ひたすら同情しかありません。

中略

地政学的見地から考えますと、今回プーチンは領土的野心はないと言ってましたし、それは間違いないと思います。なぜかと言うと、ウクライナを占領することは百害あって一利なし、と。

そもそもウクライナは財政破綻国家ですし、あの政権はもの凄い腐敗やっていますし、そこをロシアが占領して自国のロシア軍を展開すると、ポーランドや周辺はNATO(北大西洋条約機構)諸国と国境を接しなければならぬ。もう、コストはかかるし、兵力はいるし、大変だと。

そこで東部のドネツク、ルガンスクの2ヶ国(ウクライナ東部の親ロシア自治区)を併合しないで、2ヶ国の独立を認めるということにしたのも、直接ロシア軍が出るのではなく、彼らに武器を与えて戦わせるのが一番いいと。

中略

プーチンが「麻薬中毒のネオナチ政権をやっつける」というようなことを言いましたが、あれはほんとうに凄くてですね、今のウクライナ政権は、ウクライナ内部にあるネオナチの動きはもの凄いことになっているということです。

松田 学

ほうそうですか。今、なんかゼレンスキーが英雄みたいになっちゃってですね、世界中が応援し始めちゃったんですけど。

丸谷元人

そうなんです。ゼレンスキーは国民を守るために立ち上がったということになってますけど、あの方もネオナチの凄い人たちと仲良かったりしますし、去年の2月には、自分に反対する野党の人たちの影響が強かったテレビ局とかを3つ、いきなり閉鎖してますし、言論の自由もへたくれもないんです。ですから、全体主義と民主主義の戦い と言う人もいますけれども、全然、民主主義でもなんでもなくて、現地で色々な人の話を聞きましたけれども、みんなロシアの侵攻に対しては怒っているんですが、かといって、今の政権の言っていることを信じているかという、マユツバ(眉唾)という感じで、ロシア兵が捕虜になったという映像がありましたが、「あんなの嘘だ」と言う人もいて、そのくらい政権を信じていないんだ、ということを感じました。

なので、そういうことを知らないで、ウクライナの政府の中核にどれだけネオナチがいて、ギャング集団みたいな人がいっぱいいるわけですよ。

そういうことを知らないで、今回70人の日本人が行く行かない(義勇兵として)みたいな話になってますが、向こうに行ったら筋金入りのネオナチみたいなですね、アジア人嫌い、ロシア人嫌い、黒人嫌い、白人が劣等人種をやっつけるんだ、ということを行っている人たちばかりなんでですね、そういうことをちゃんと知った方がいいと思います。

松田 学

ははー、それはほとんどの日本人は知らない。そういう実態があるんですね。プーチンが「殺されているロシア系住民」ということを言っても、なにかプーチン頭狂ったんじゃないかとか、ロシアの情報画策とか、なんかそんな話になってますけど。

丸谷元人

それは、起こってますし、実は2014年にオデッサという町でロシア系住民の虐殺事件があつてですね、ネオナチのグループがロシア系住民を1つのビルに閉じ込めて、男性のことは拷問する、女性のことは強姦しまくって、その後で、ビルごと焼いちゃったと。50人ぐらい焼き殺したと。それでも、警察は来ない、目の前にある消防署も反応しない、という事件があつたんですね。

それをやったネオナチグループのトップとゼレンスキーさんはすごく仲いいですし、去年はその大量殺人をした人を保釈して、その人をオデッサの治安当局のトップにしようとしてましたし、遺族たちの毎年の追悼式典も、暴力的にネオナチはずっと妨害してきたというのがあるんですね。そんなの見たら、とてもじゃないけど、ちょっと違うな というのがありますね。

松田 学

じゃー、プーチンとしては、自国の安全保障もありますけれども、ロシア系住民も何とかしなければいけない、という動機もやっぱり。

丸谷元人

はい、ありますね。

例えば、大東亜戦争が終わった時に、日本人居留民が百万人ぐらい残ってたとして、朝鮮半島でギャングみたいな者のムーブメントが起きて、日本人が殺されたりして、大国の諜報機関から武器を貰ってやってたとなったら、戦後の日本は別ですけれども、普通の国だったら、やっぱり兵出しちゃうと思うんです。日本も戦前は、上海で日本人が襲われた時は兵を出したわけです。居留民保護ということで。

中略

松田 学

最初はロシア系住民に武器を供与して戦ってもらおうという道をやっていたけれども、どうもそれだけではすまなくなってきたということなんですかね。

丸谷元人

はい 今回、私がチームを入れて ちょっとして、危なくなってきたな と思ったのは、ロシア軍が演習を終えて帰ると言い出した時に、東部の方で砲撃戦が激しくなったんですね。

停戦違反が、2月で2千件近くなつたんです。

で、その時に、これをやっているのは、ウクライナ軍の中にいる極右のギャングみたいな連隊の連中かな、と思いましたね。

こうなると多分黙ってられないし、実は民間人の犠牲者も東部の方でかなり出てますので、ロシア系住民もやられてますし、当然、ロシア系も親ロシア派も武装してますし、やり返しますと。

今回、アメリカはロシアを戦争させたくて煽ってたな、と思ってるんですけども、アメリカが煽っていた時よりも、今回の停戦違反による影響の方が、私は、はるかに危ないなと思ってたんですね。

そしたら、ドンと戦争になってしまったという感じでした。

松田 学

なるほど。そもそも、ネオナチみたいなのがウクライナで はびこっているのはどうしてなんですか。

丸谷元人

彼らがどういう連中なのかと言いますと、**アゾフ連隊**という名前なんですけど、ヘルメットにナチスの鍵十字を入れたりとか、色々なものを付けてるんですね。

初代の連隊長というのは、2014年から2019年まで国会議員を務めた男で、彼はウクライナは社会の白人種を率いて、劣等人種に対して十字軍の作戦を行うべきだ、と言っている人で、元々親ナチスの土壌があったんです。

1941年にナチスがソ連を攻撃した時に、オデッサの町で、ウクライナ人の攻撃的な民族主義者が数日の内に、こん棒や銃で4千人のユダヤ人を殺しているんですね。

そんな男を、今のネオナチは崇めて神のように扱っているんですね。

そうゆうのがアゾフ連隊とか色々な物を創って、ギャング集団を入れて、**内務省の高官も、裸になったらナチスの鍵十字をいっぱい入れてるやつばかり**なんですね。

やっぱりそういうのを知ってたら、私は義勇兵という気持ちにはならないですし、ゼレンスキー大統領はそういうのと仲いいですから、ずぶずぶなので、これ凄い心理戦争というか、世論戦、情報戦というのが凄い。まー、プーチンは天使でもないですけども、悪魔化をし過ぎて、**プロパガンダ(情報戦)の王道をいっているような世論戦が展開されて、あまりに不気味だな、というのが**ありますね。

松田 学

なるほど、そういうネオナチの実態というのは、今回、ドイツまで態度を硬化させてウクライナを助けるとなってますけれども、例えばヨーロッパの近隣諸国の方々はそういうのを知らないんですか。

丸谷元人

いや、知ってます。ウクライナは、アメリカのネイションという雑誌が2019年に書いているのが、ウクライナは、正規軍にネオナチのグループがいる世界唯一の国だ、とってる訳ですね。

アルジャジーラ(アラビア語と英語でニュース等を24時間放送している衛星テレビ局)なんかも、このアゾフ連隊のことをさんざん書いてますし、イギリスとかカナダの政府なんて、このアゾフ連隊と関わってはいけない、と、いうふうに決議を出したりしてるんですけども、それ、必ずひっくり返って、軍とか、諜報機関が、彼らを訓練したりしてるんですよ、実際に。

そういった意味で、アメリカの中にもネオナチのグループがいますけれども、例えば、アトムアッヘン師団というのがいるんです。超過激派思想の。

彼らなんて、ほんとに殺人やってる犯罪者とか、少女を暴行したりとか、そんなやつらばかりなんですけれども、彼らがメンバー(アゾフ連隊の)で、一緒に戦ってるんですよ。

そういうのが、ウクライナ内務省の警察特殊部隊として、しばらく機能していて、今、ナショナルガードユニットという所に入って、ウクライナ正規軍に今は編入されているという実態なので、そんなのみんな知ってますね。

大手メディアは、そんなこと敢えて言わなくて、ホワイトプロパガンダと言いますか、ゼレンスキーは素晴らしくて、国民の為に戦っていて、プーチンは悪だ、という二元論でやっちゃってますけど、向こうの色々なメディアをちゃんと読んでおけば、こういう記事は過去にいっぱい出てます。

松田 学

ほうそうですか。それで、ネオナチみたいなものは、ウクライナの一般市民はどういう

丸谷元人

いややっぱり、ウクライナの普通の人、ほとんど普通という感じですけども、一方でこういう犯罪集団みたいなものが、ネオナチみたいなものが権力を握っているの、やっぱりその辺すごく離れているなと今回感じました。

政府というのは、建国以来ずっと腐敗を極めている政府でありますから、欧米からお金を貰ったり、ロシアからお金を貰ったりしてますけど、2014年に、親口派の、一応選挙で選ばれた大統領がひっくり返りました。ひっくり返ったのも、結局は、**米英の情報機関がお金を入れてバックアップした**、何十億ドル入れて育て上げた、ネオナチとかギャング集団が暴れて、政権転覆した、ということなので、そこらへんも言われないと。

あと、国連人権高等弁務官事務所の2016年の報告書で、アゾフ連隊が民間の財産を略奪して、ドンパツ地方で住民を拘束して、女性を強姦しまくって、男性なんか拷問しまくっている、という非難の決議の文章を出してるんです。

そういうの普通に出てくるんですけど、**日本では報じない**。

これが出たのは2016年ですが、2018年の段階でも、アゾフ連隊が首都キエフの秩序を回復するという名目で、パトロール部隊を勝手に造ってますね、ロマ人(ジプシーと呼ばれてきた集団のうちの主に北インドのロマニ系に由来し中東欧に居住する移動型民族)と言いますよね、ヨーロッパの、ロマ人のコミュニティに対して、凄まじい迫害行為をやったりとか、LGBTQ(同性愛)のコミュニティを襲ってボコボコにしたりとか、そんなことばかりやってるんですね。

松田 学

は一ん、何か中国がやってるウイグル人弾圧みたいなことですね。

丸谷元人

はい、やってることいっしょですよ。

松田 学

それを、西側諸国はバックアップしてるんですか。

丸谷元人

あー、実際にバックアップしてます。

その右派のトップとかいうのと、イギリス軍と一緒に会って、そういった者に対してイギリス軍が訓練するという事が、**去年(2021年)**に始まったりしてまして、それイギリス国防省は発表しなかったのですが、ウクライナ側が発表しまして、イギリス国防省が慌てて火消したという話もあります。

後略

以上の丸谷氏の解説から、世界の主要政府や主要メディアを傘下にしたディープステートの隠蔽戦略や捏造報道に、世界中のほとんどの人が操られて、偽情報を信じこまされてきたことが読み取れます。

以下は、世界の主要メディアの隠蔽(いんぺい)や捏造報道の例です。

ディープステートを潰すために戦っているトランプ大統領を悪く見せるための膨大な量のフェイクニュース

トランプ大統領が圧勝していた2020年大統領選挙での、バイデン側の膨大な数の選挙不正の隠蔽
(州裁判所も最高裁判所もDSの支配下にあったので、トランプ側の全ての告訴を審議もせずに却下したこと)

1月6日の議事堂襲撃事件の真相の隠蔽

(FBIと議会警察が主導して、トランプ支持者に変装したDSの過激派を侵入させたこと)

2021年1月9日から、アメリカ政治の実権がホワイト米軍に移ったことを今日まで報道せず
(トランプ大統領の反乱法の発動による暫定米国軍事政権の成立)

世界の多くの国にある、膨大な数の児童幽閉地下基地の存在と、ホワイト米軍と同盟軍による救出活動の隠蔽 (現在も世界中で進行中の、誘拐・密売組織の逮捕と子供たちの救出活動)

イギリス王室、バチカン、オランダ王室、日本皇室、などの闇の隠蔽

CIAによる、反DSの有力者の暗殺や反DS政権の転覆工作の隠蔽

オミクロン株の危険性の大きき報道と、コロナワクチンの危険性の隠蔽

ウクライナ政権の闇の隠蔽と多くの捏造報道、そしてプーチン大統領の侵攻の動機 の捏造報道

松田 学 氏 も、丸谷元人 氏 も、プーチン大統領を、擁護する表現が目立つとYouTubeにバンされるので、極力ロシア側を擁護する表現は避けていました。



[us真相究明舎RU/インコイトネサラ・ゲサラ♪](#)

これはゼレンスキー政権と同盟を結んでいる民兵組織「アゾフ大隊」です。彼らはネオナチであることが知られているが、ナチスのふりをしているわけでもなく、リベラル派が呼ぶ「ナチス」でもなく、彼らは本物のネオナチなのです！彼らは本物のファシストなのです！そして彼らはそれを非常に誇りに思っている。それがアゾフ大隊！ PS: あなたが「ウクライナと共に立ち上がる！」と言うとき、あなたはゼレンスキー政権の凶悪犯と殺人犯と共に立ち上がることに同意となります。